

大東文化大学 国際関係学部

舞台は世界だ！



特色GPに選定されたカリキュラムで、アジアを知り、体験し、理解する!

1986年の学部創設以来、アジアを重視する建学の精神と理念から4つの柱を中心にカリキュラムを組んでいます。



アジア地域言語教育

アジアの人々と話そう!

心の通いあうコミュニケーションツールとしての言語の習得

国際関係学部では、中国語、コリア語、ベトナム語、インドネシア語、タイ語、ヒンディー語、ウルドゥー語、ペルシア語、アラビア語の9言語の中から1言語を必修科目としています。アジアの言語を学ぶことは、その地域に暮らす人々と直接コミュニケーションをとることができるようになるだけでなく、伝統や文化への共感を育み、地域研究の基盤をつくります。

◆カリキュラムの内容

国際関係学科、国際文化学科ともに、初級・中級コースと上級コースに分かれます。1・2年生に履修する初級・中級コースでは、しっかり基礎を身につけます。ネイティヴスピーカーをふくむ3人の教員により、基本的な文法と1,500語程度の語彙を習得し、2年生に行われる現地研修にのぞみます。上級コースは3年生以上を対象に、地域研究など、より専門的な分野へ。卒業論文作成にあたり、現地の言葉で書かれた資料を活用できることを目標とします。



地域研究カリキュラム

地域の多様性を学ぼう!

さまざまな表情をもつアジア地域の多様性をふまえたカリキュラムを用意

一口にアジアといっても、地域によってその表情はさまざま。「東アジア」「東南アジア」「南アジア」「西アジア」の4つの地域に分け、それぞれの地域の政治・経済・社会(国際関係学科)、歴史・文化・芸術(国際文化学科)を学びます。こうした地域に根ざした研究によって、実感と共感をともなったアジア理解を進めることをめざします。

◆カリキュラムの内容

1年生では「入門講座」として、アジアのさまざまなトピックを素材に「学ぶことの面白さ」「問題のあり方」をともに考えます。2年生からの「地域研究科目」では、アジアのより具体的な姿にふれ、理解を深めます。また自由選択の授業では、地域共通の分野について学んだり、ワークショップ形式で進める「特殊講義」などを用意しています。



日本とアジアのよりよい関係を築こう—。

これが国際関係学部をめざす「アジア理解教育の総合的取組」です。

勉強だけでなく、課外活動の面からもアジアへの理解を深めることができるよう、さまざまなカリキュラムを用意し、工夫しています。

また日本とアジアは「イコールパートナー」であると考え、

アジアへの共感と豊かな想像力、理解力をそなえた人材を育て、

「アジアとの共生」というこれからの課題にこたえることのできる

“人づくり”を行っています。



現地体験型学習

現地でスキルアップしよう！

アジア各国の協定校への現地研修と留学による体験学習

現地研修と短期・長期留学制度の2つの柱からなるプログラム。現地研修は2年生を対象にアジア9カ国の協定校11校の協力で行われます。アジア地域言語の学習の成果を試し、協定校での言語などの授業、学生や現地の人々とのさまざまな交流、研修旅行を通して、地域への理解を深めます。事前に訪問国の歴史・社会・文化・日常生活について、十分な予備学習を行い、研修後はレポート作成やプレゼンテーションなどとともに、研修の成果を「アジア言語スピーチコンテスト」につなげます。

留学制度は、現地研修の次のステップとして、2年生以降の学生向けに同じ協定校が受け入れ先となります。語学力に磨きをかけ、地域研究を深めることが目的です。研修後の学生たちは、語学力アップ、アジア理解の目的意識向上など、大きな成果をあげています。アジアからの留学生との積極的な交流や、近隣に在住するアジアの人々との交流も進んでいます。



学生による企画・参加・実行型の活動

仲間と共に行動しよう！

ASIA MIX, ASIA WEEKを中心とした

学生の自主的活動によるイベントと研究活動の支援

「五感を通じてアジアをヴァーチャル体験する」(学生パンフより)をテーマとして、5～6月に開催される「ASIA MIX」は、学生が主体となり、アジア料理祭、映画祭、アジアの舞踏と音楽の上演、写真展等が行われるイベントです。なかでも学生がアジア各国の料理を作って模擬店で販売する料理祭は、「食」という身近な文化を通じてアジアにふれ、食材や香辛料を通じてアジアを実感する、中心的なイベントとなっています。レシピの作成、買い出し、調理、模擬店づくりなどの作業をしながら、アジアを軸にした一体感が生まれ、その伝統は上級生から下級生へと受け継がれています。

「アジア言語スピーチコンテスト」(通称「スピコン」)は企画から実行までを学生主体で行い、プロモーションビデオの制作と学内外への宣伝、プログラムの作成、趣向を凝らした舞台づくり、クラスごとの応援チームの結成など、多くの学生が参加しイベントを盛り上げます。

名実ともにアジア理解教育の拠点に！



「アジア理解教育の総合的取組」が
特色GPに
選定されました！

「特色ある大学教育支援プログラム」 (特色GP)とは

文部科学省が実施する「特色ある大学教育支援プログラム」は、さまざまな分野で教育を行っている全国の大学から、特色ある優れた実践例を選定し、財政支援を行う取り組みです。その事例を広く社会に情報提供することで、大学教育の改善をはかるという趣旨で始められました。

■採択率14.5%の狭き門

2006年度は全国の大学・短期大学から331件が申請され、国際関係学部の「アジア理解教育の総合的取組」を含む48件が採択になりました。その採択率はなんと14.5%！狭き門をくぐって国際関係学部のカリキュラムが採択されたわけです。また、アジア理解教育では全国初の採択となりました。

■選定理由は

「アジア理解教育の総合的取組」は1986年から開始され、体系的でよく練られたアジア重視型プログラムであること、大学の建学の精神がプログラムに具体化されていることなどが評価されました。

いまを語ろう、夢を語ろう 夢を大きくふくらませよう

在学生 インタビュー

現地研修でベトナム人の友だちができました!

高校生の

時から絶対にベトナムに行きたい

とっていて、それでベトナム語が学べるこ

の学部を迷わず選びました。2年生の現地研修でそ

れが実現し、ますますベトナムが好きになりました。研修中

に開かれた交流会では、ベトナム人の友だちができたんですよ。

私にとってはこれが一番の収穫ですね。彼女の家にも招待されて、家族とお喋りをしたりご飯を食べたりと、生涯忘れることのできない思い出をつくりました。その友だちは今でもメール交換をして、友情を深めています。またその影響か、最近はアジア圏と日本との関係が気になるんですよ。日本とベトナムに関する記事や、台湾や中国との関係の記事をみるとファイリングしています。

大東文化大学の特色の一つは「ダブルスクール*」ではないでしょうか。講座が多くて充実していますし、なにより資格をとれるのが嬉しいですね。私はまだ「ファイリングデザイナー 3級」の資格を取得しただけですが、4年生までには、「医療事務」や「パソコン検定」なども取得したいです。

大学にいる間にスキルアップして、就職にも役立てたいですね。

*「ダブルスクール」は12ページを参照



中野理奈さん

国際文化学科2年
出身校:埼玉県立大宮南高等学校
地域言語:ベトナム語

交換留学生とのネットワークを広げて

日本だけ

でなく世界に興味があって、もっと広く世の中を見てみたいと思っていました。

国際関係学部は、特殊な地域言語に力を入れているのが魅力でしたね。それと違う学部に通う高校の先輩から「国際関係学部って、楽しそうだよ」と聞いて、大きく気持ちが変わりました(笑)。

中国語を選んだのは、いま、猛スピードで経済成長してきている中国に行ってみたくったことと、アジアの中でも、特に日本と中国との友好関係は大切ですから、その役に立ちたいという気持ちもあって。国連で使われている公用語は、アジアでは中国語とアラビア語ですから、それを学びたくったこともあります。サークルは軽音に入っています。音楽ってすごいですね。言葉が十分に通じなくても、話しができるんです。大学には交換留学生がたくさんいるので、彼らとギターを弾いて「この曲、知ってる?」「あっ、知ってる!」って感じで盛りあがって。

音楽を通して仲良くなった留学生がたくさんいます。「自分の国に遊びに来てよ」といわれているので、いつにしようかそれも楽しみです。

斎藤悠志さん

国際関係学科1年
出身校:福島県立安達高等学校
地域言語:中国語



いま、アジアに目を向け、将来は世界を舞台に仕事や夢を実現させようとする若者が増えています。国際関係学部では十分な英語の学習を前提に、アジア9言語、その地域の背景となる文化や歴史、政治、経済や芸術などを学ぶ、多彩で魅力ある授業を展開しています。ここで紹介するのは国際関係学部で学び、将来の夢をふくらませている先輩たち。この学部を選んだきっかけや授業、キャンパスライフなどについて語ってもらいました。

世界中の人との“コミュニケーション力”をつける

大学の授

業は、興味のあることを学べるの

がいいですね。私は南アジアに興味がある

ので、その地域の文化や生活などを優先して勉強し

ています。選択したヒンディー語は、文法も日本語に近く

発音もそう難しくないで、入りやすい言語でした。2年間で日

常会話程度はマスターできたかなと思います。もちろん深い会話は

まだ無理ですが、やる気さえあれば上達するとわかりました。現地研

修はインドに行ったのですが、インドの人たちは好奇心旺盛で何でも聞

いてくるんですよ。私がヒンディー語で答えると嬉しそうに、次々と質問

をしてくる。言葉ができるだけで相手の反応が明らかに違うんです。「言

葉の力」って大きいなと実感しました。

今年の8月からは、インドにある語学研修所に私費留学する予定

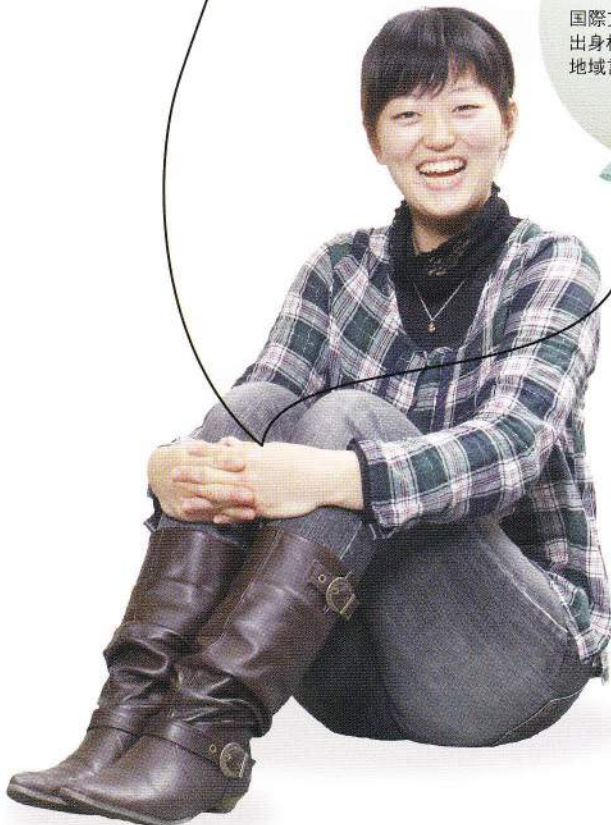
です。そこには世界中からヒンディー語を学びに来るので、今か

らすごく楽しみ。初めは英語での会話になると思うので、英語

のスキルが上がるのも期待しています。そして、世界中

の人との“コミュニケーション力”をつけて帰って

きたいと思います。



落合道代さん

国際文化学科2年

出身校:東京都立清瀬高等学校

地域言語:ヒンディー語

ここでしかできない言語を学びたくて

アジア言

語は、ここでしかできない言語を

やろうと思って「アラビア語」を選択しました。

入学した頃はイラク戦争のニュースが多く、イスラム

圏に対する怖さのようなものを感じましたが、理解しにくい

地域だからこそ、あえてその言語を学んでみたいという気持ち

もありました。実際に勉強してみると、アラビア語は難しくてかなり

大変です(笑)。先生には「辞書を引けるようになるまで1年はかかる」

と言われました。先生とは気さくに話せるので、わからないことがあると

すぐ研究室に行って教えてもらっています。

現地研修ではエジプトへ行きました。この大学を選んだ理由の大きな

ポイントがこの「現地研修」でしたので、期待はかなり大きかったです。

実際に現地の人と話をしてみても、自分の言語力の未熟さを痛感しま

したけれど、エジプトが大好きになりましたね。将来はアラビア語

が活かせるようにエジプトに支店がある会社か、子どもの頃か

らの夢だった青年海外協力隊の仕事につけたらと思って

います。異文化を勉強したくて国際関係学部に入

学しましたが、すごく満足しています。

大沼智美さん

国際文化学科2年

出身校:山形県立山形西高等学校

地域言語:アラビア語



アジアをもっと知りたくなる 多彩なジャンルと言語の授業

国際関係学部には、学生の興味の数だけ、
その探究心に応えられる科目&講義が用意されています。
学ぶほどに、知るほどに、その興味は確実に広く深くなっていくことでしょう。
さあ、あなたはどのジャンルからアジアへの扉を開きますか？

アジアの

地域言語

中国語からアラビア語まで、アジアの9言語が学べます

1、2年次の選択必修科目・地域言語基礎として、中国語、コリア語、
インドネシア語、タイ語、ベトナム語、ヒンディー語、ウルドゥー語、
ペルシア語、アラビア語の9言語を用意しています。身につけたい言語
を1言語選択し、基礎からみっちり学べます。

アジアの地域言語



アジアの

社会

あらゆる角度からアジアの社会を見つめます。

アジア社会論／韓国社会論／ヒトとモノから見た東南アジア社会／南アジアの社会と暮らし／西アジアの社会と暮らし／アジア人口論／難民研究／民族問題／NGO活動論／日本民俗社会論／人文地理学／日本地誌概論／世界地誌概論／社会学概論

NGO活動論

本当に必要なことは？

周辺諸国に凄まじい被害を与えた2004年末のスマトラ沖地震。日本のNGO(非政府組織)は地震直後からすばやい対応をみせ、アチェ(インドネシア)、スリランカ、南タイの現場で救援活動を行いました。授業では、NGOの具体的な活動と、直面する問題などについて、関係者から直接報告を聞きながら、必要な援助や支援とは何かを考えます。



写真提供：NGO Network JAPAN
「難民を助ける会写真展」より

経済

アジアの

成長するグローバルビジネスの中心から、現代社会が直面する問題点まで、人々の暮らしに直接つながる学問です。

近代経済学／現代中国経済論／グローバル化の中の東南アジア経済／現代南アジア経済論／中東・地中海世界の風土と経済／農業・食料問題／開発経済学／国際経済論／国際金融論／比較経営史

難民研究

「難民」の「問題」を思考する

講義の対象は「難民問題」ではなく、「難民」の「問題」です。分析が人道的視点であることは当然ですが、むしろ強調したいのは、科学的な分析です。良くも悪しくも、「難民」と聞けば人道問題との固定観念があるせいか、視野が狭くなりがちです。現代世界を「人の国際移動」の視点からダイナミックにながめてみたいと思います。



民兵に村を焼き払われて木陰に身をよせるスーダン・ダルフルの国内避難民
写真提供：UNHCR/K.Mckinsey

アジアの

政治

複雑化するさまざまな問題を掘り下げ、政治、法律の視点から世界との関係を考え、真の国際性を身につけます。

国際関係論／東アジアの政治と国際関係／東南アジアの政治と国際関係／南アジアの政治と国際関係／西アジアの政治と国際関係／国際政治学／国際機構論／安全保障論／政治原論／国際法／法学概論／アジア法

アジアの地域研究

アジアの

文化

多様な民族が暮らすアジア。異なる価値観や文化的背景を探り、理解することからスタートします。

比較文化論／東アジア文化論／東南アジアの民族と文化／南アジアの宗教と生活文化／西アジアのこぼれ文化／イスラム文化論／アジア文学論／中国伝統文化論／比較思想史／美学概論

悠久の歴史の流れを学ぶなかで、なにが見えてくるでしょうか。

アジア史／東アジア史／東南アジア近現代史／南アジア近現代史／西アジア史／日欧文化交流史／歴史学概論／東洋史概論／日本史概論／日本と朝鮮半島の近現代史

歴史

アジアの

アジアの

芸術

歴史を感じさせる神聖なデザイン、どこか懐かしく癒される音など、感動をよび、心に残るアジアの芸術にふれます。

比較芸術学／東アジア芸術研究／東南アジアの芸能／南アジアの芸能／西アジア芸術研究／アジアの身体とパフォーマンス／ガムラン合奏／美学概論／表象文化論

アジアの身体とパフォーマンス

からだで丸ごと理解する！

アジア各国の舞踊の特徴を、身体を動かしながら学ぶワークショップ形式の授業です。国内外で活躍中の韓国、タイ、インドネシア、インド、アラブ舞踊の専門家講師として招き、各舞踊の特徴をデモンストレーションを交えて解説してもらいます。実際に基本的な動作を身につけることによって、身体的に把握することを目標とします。



現代必須アイテムの英語を「使える」ほんものにする

国際社会において、

「国際公用語」の英語スキルは不可欠なものとなっています。

言語の習得があつてこそ、その奥にある文化や地域性を理解し、世界の人々と話し合えるからです。

国際関係学部では英語を必修とし、

「使いこなせる道具」としての英語力の習得をめざします。

英語は世界の共通語です！

エドワード・マーゲル Jr. 教授

英語を勉強することは、“楽しい人生を送る” ためにとても大事なことだと、学生にはいつも話しています。つまり英語は世界の共通語ですから、英語を使えば世界とつながれるということですね。国籍の違う人と話し、考え方を知り、理解を深める。それは人生を豊かにします。たとえ英語がすぐに必要でない人でも、長い人生の中ではいつ必要になるかわかりません。卒業して10年後、20年後に必要なになるかもしれないのです。

ですから実際に学生が卒業してから、どんな英語の知識があればいいのか、そのためにはどんな情報が必要なのかを考えて、私たちはカリキュラムを編成しています。英語の授業は12講座あり、1年生では「コミュニケーション英語」と「総合英語」が必修です。コミュニケーション英語では主にリスニングとスピーキングを、総合英語ではリーディングとライティングを学びます。入学後にクラス分けをし、授業はレベルに応じた内容となっています。

学生の英語能力を伸ばすことはもちろんですが、留学する学生に役立つ「英語留学準備講座」や「TOEFL 準備講座」、就職に役立つ「英検準備講座」など、学生のニーズに応じた英語講座を用意しています。英語の能力が上がると、アジア言語の理解も深まります。学生には、日本語・英語・アジア言語が使えるようになって、卒業してほしいと考えています。



アジアを理解するためにも、英語力が必要です

瀧口 明子准教授



英語の選択科目は12講座あり、1年生から4年生まで自由に受けることができます。たとえば、「総合英語」のなかには、留学生や、あまり英語が得意でない学生向けのクラスがあります。ここでは、リズム感のある「ジャズ・チャント」を聞いたり、英字新聞のスポーツ欄を読んだり、ロックミュージックの訳詞をしたりと、英語に興味をわく授業をしています。

「英語で書くアジア」という講座は、学生はアジア圏の9言語を選択しているので、その選択地域について英文で書いてみようというもの。作文のなかで、ある学生は留学したタイでの出来事を書き、エジプトに現地研修に行った学生は「イスラムの衣服」について、「埼玉県の夏祭り」について書いた留学生もいました。それぞれに個性豊かなアジア論となり、アジアに対する理解を深めるとともに、アジアのことを学ぶには、英語も必要だと気づいてもらえたようです。

「スピーキング」中級以上のクラスでは、異文化コミュニケーションをテーマにさまざまな外国の習慣について、日本人とどう違うのか、お互いの文化についてどう考えているのかなどを、英語でディスカッションしています。

英語の授業の目標は、4年生になったときに、自分ひとりでもグループでも研究ができるようになること。そして、英文でレポートを書き、英語でプレゼンテーションができるような、高い英語能力を身につけてほしいと考えています。

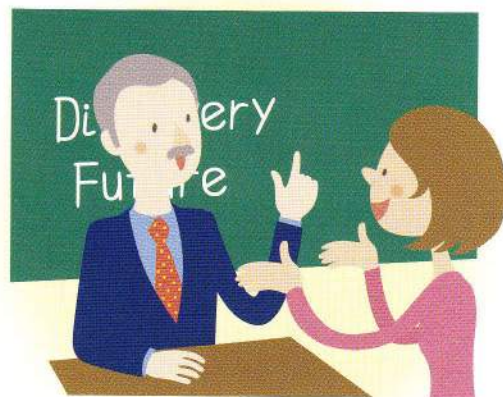
基礎から上級まで、 自分のレベルに応じたカリキュラムを選択できる

■大学で必要な英語の基礎能力をつける

「総合英語」「コミュニケーション英語」

「Reading」「Listening」「Writing」「Speaking」は互いに深く関連しあっています。英語が好きで得意な人も、苦手で嫌いだった人も、1年後には手ごたえが感じられるくらい総合的な英語力を身につけること、これがこのクラスの目標です。

授業ではまず、英語の歴史、基礎となる文法や辞書の使い方などにふれたあと、テキストの精読を中心に進めます。映画やニュースの聞き取りと詩歌の朗読なども行い、英語の音に慣れ、音の感覚を磨きます。また授業で扱った文章から例文を暗記し、書くための基礎づくりをします。次にReadingで大切な大意把握の要領を paragraph, main idea, topic sentence を中心に学習。英文の構成を理解したあと、要点をつかみながら、文章の大意を読み取ることができるような読解力を鍛えます。Writingでは、段落の構成ができるようにすることを目標とし、段落の書き方、統一のとれた文章の書き方を学習します。



■より高度な講座を選択できる

「英語講座」

●Speaking Skill

より高度な話題でディスカッションをする英会話コース。会話に必要な語彙と言いまわし、会話戦略を演習します。中級・上級レベル向け。

●Speech & Debate

スピーチ作成とディベートだけでなく、レトリックや意味論などにいたるまで、言葉の深い理解をめざします。言語を分析し、問題点を論じ、書いたり話したりする上での判断を確かなものにします。

●English for international Business

卒業後、ビジネスの世界で必要とされる英語力を養うことを目的としています。来客に対する英語での応答、電話での対応、輸出入実務の手紙の書き方など社内が必要とされる英語の理解に努め、基本的な英語力が身につくようにしていきます。

●English for international Issues

上級者向けの Reading とディスカッションのクラス。環境問題や人種差別など、世界の将来に影響する主要な問題を議論します。



■英語でアジアを学ぶ

「英語で書くアジア」

日本やアジアについて英語で書くための基本的 Writing 力の習得をめざします。数多くの基本例文を覚えるのはもちろんのこと、内容のある英文を書くために、自らの視野を広げ、さらに物事を深く考えることが求められます。

「英語で読むアジア」

Reading とディスカッションのクラスです。アジアの状況を通し、世界の文化を学生たちと考えます。現在のアジアを理解するために、タイムリーな問題について討論が行われます。

「アジアの平和と安全保障」

現代の世界の平和と安全保障について、歴史とともにその変遷を学びます。特に 20、21 世紀のアジアの状況、戦後の防衛同盟（日米安保条約）の問題、soft and hard power 問題、冷戦の終結、冷戦後の遺物、アジア太平洋地域における多国間の安全対策などが中心となります。また安全と平和、緊急課題についてはテロリズム、大量破壊兵器、および国際連合についての理解を深めることが目的です。同じように NGO、市民運動などについても学びます。



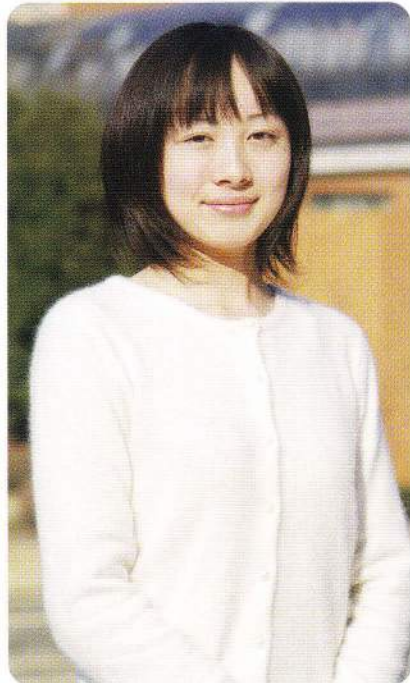
世界の舞台に立とう!

現地研修や海外留学を体験し、本の中でしか知らなかった現地の生活や文化にふれる—。それは生きた言葉で話し、笑い、理解を深め、あなた自身を何倍も大きく変えてくれることでしょう。この体験を通して、日本から世界へ視点をうつし大きく夢をふくらませてください!



中国語のスタートラインに立ちたくて

2月中旬から1年間、語学研修生として「北京師範大学」へ留学する神原奈美さん



神原奈美さん

国際関係学科2年
出身校：
埼玉県・市立大宮北高等学校
地域言語:中国語

「授業で東アジアの文化を学んでいくうちに、文化に対する関心も深まって、中国語がどんどん面白くなってきました」と楽しそうに語る神原奈美さん。中国語を選んだのは初めは興味本位だったそうですが、2年生の夏に1カ月間「現地研修」をしたことから、中国語をもっと勉強したいという思いを強く持ったといいます。しかし中国語の先生からは、「2年間学校で勉強

強したくらいでは中国語のスタートラインにもついていないよ」といわれ、それなら自分はスタートラインに立ってみたい、立ってみせようと、留学を決めました。

「私は物事に対してあまり積極的な方ではないのですが、これをやるんだと決めて一度エンジンが入ると、大胆に行動するタイプなんです。そのエンジンをかけるきっかけをつくってくれたのが、先生の言葉でした。とても感謝しています。もちろん留学は初めての経験。日本を出てみないと感じられないことも多いと思うので、ワクワクしています。異文化の視点から日本を見るというのが、今の自分には貴重な体験になると思います」

留学先では寮生活。食事は自分で用意しなければなりません、中国料理も大好きなので今から楽しみだそうです。

「中国茶や中国茶の作法などにも興味があるので、やりたいことはたくさんあるんです。休みを利用して上海や言語の違う地方の田舎などに行ってみたいし…。1年ありますから、短期間ではできないことをしていきます」

留学する学生を積極的に支援

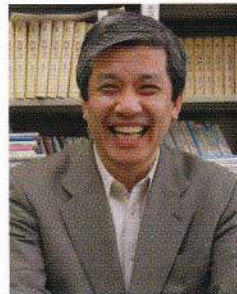


ギャレン・ムロイ講師

現在、世界では英語を話すことが特別なことではなくなり、他国の英語能力はますます高くなっています。そして、今までのような「ブリティッシュ・イングリッシュ」や「アメリカン・イングリッシュ」だけではなく、今後は「ワールド・イングリッシュ」を理解することも必要となってきました。そこで授業では、ネイティブスピーカー以外の英語の聞き取りや、その特徴を紹介しています。

英語で短期留学ができる協定校は、カナダの「ブリティッシュ・コロンビア大学」です。この大学では、国際関係学部の学生のために特別な「語学研修プログラム」を組んでもらっています。講座は6カ月間の短期集中講座で、週5日間/1日6時間と英語漬けの毎日ですが、効率よく英語を勉強することができます。2000年4月から毎年10人前後の学生が留学し、留学から帰ってきた学生たちの、英語力の上達には驚くものがあります。その自信は、その後の就職活動にも大きく役立っているようです。

留学することで自立し、視野も広がる

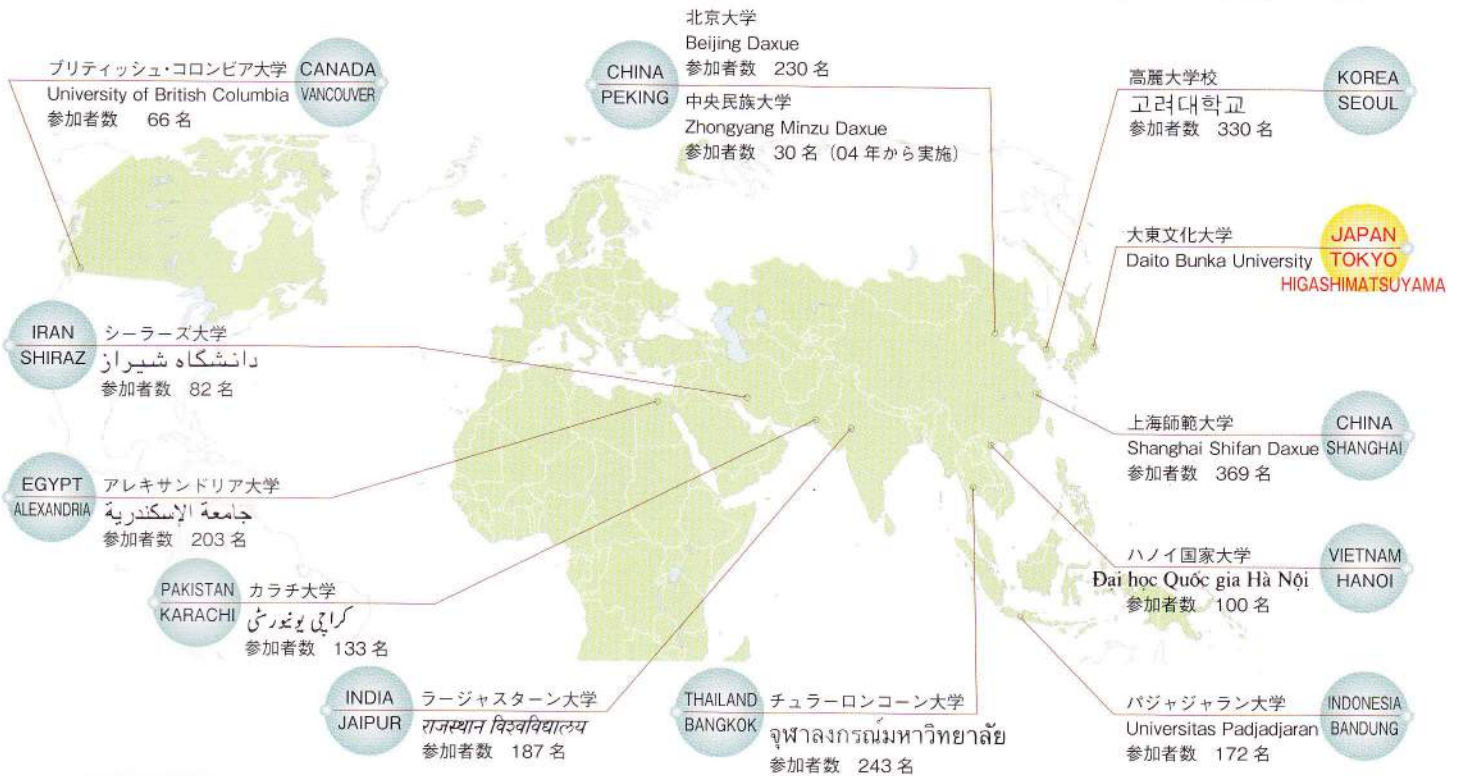


小林啓志准教授

「現地研修」や「留学」などでアジアへ行くと、そこに来ている留学生とはほとんどの場合、英語で話すことになります。たとえば北京大学に留学すると、そこにはヨーロッパ圏の学生もいるので、英語が話せれば、その学生の目から見た中国についての意見を聞くことができます。そうした面で英語ができれば、さまざまな国籍の留学生とも自由に会話ができ、大きく世界が広がり、アジアに対して「複眼的にものを見る」ことができるわけです。

「英語はツールであり手段」だと学生には言っています。英語はコミュニケーションの手段であり、発音に関してはあまり気にする必要はありません。現実にインドの人はインドの英語を、エジプトの人はエジプトの英語をしゃべっているわけですから。留学を経験した学生のほとんどが、人間的に成長しタフになって帰ってきます。自立心もでて、視野も広がってくる。その勢いで、世界に活躍の場が広がることも夢ではありません。

10カ国の提携校で地域言語を学ぶ



海外留学者数 (1998 ~ 2006)

アジア圏	178名
英語圏	66名

(注)1996年～2006年度までの参加者数。
1996年以前は必修科目。
SARS・その他の影響により2003年の中国・インドネシアは中止。

現地研修

2年生で実施。アジア9カ国の提携校で地域言語をみっちり学習し、日本語+英語+地域言語を使いこなせる「トリリンガル」をめざします。また、現地の人々とのふれあいを通じ、その地域の生活や文化への理解を深めます。なお、現地研修は8単位を卒業単位として認定します。

留学のさまざまなかたち

アジア言語短期留学

現地研修を行った提携校に、さらに6カ月間留学します。16単位が卒業単位として認定されます。

英語短期留学

カナダのバンクーバーにあるブリティッシュ・コロンビア大学へ3年生以降半年間留学します。一括で16単位認定。毎年5～10名の学生が参加しますが、延長して1年間留学する学生もいます。その場合も受講時間に応じて、30単位まで認定されます。留学により、英語力を伸ばし、その国の文化をより深く学ぶことができます。

海外留学をバックアップする制度を用意しています

国際関係学部では、海外留学を通じて国際的視野をさらに広げてもらえるよう、さまざまなサポート体制をとっています。アジアはもちろん、英語圏の大学にも興味ある分野をほりさげて学べる環境を用意。留学先の大学で修得した単位も卒業単位として認定します。

長期留学	(財)日本国際教育協会 (AIEJ)	大東文化大学 奨学金留学制度	大東文化大学協定校 派遣留学制度
留学先	大東文化大学協定校	海外の大学 (地域を限定しない)	大東文化大学協定校
留学期間	10～12カ月	10～12カ月	10～12カ月
給付金	月額80,000円	地域別奨学金経費月額×留学月数 (月額55,000～135,000円) *航空運賃支給、授業料補助あり	上限360,000円 (月額30,000円×留学月数)
単位振替認定	上限30単位	上限30単位	上限30単位

※ただし、上限は100万円 (授業料が必要な場合は168万円)。航空運賃等も含む。

留学費用 (長期)

	授業料	渡航費	住居費	生活費	計
中国への留学	200,000～	150,000～	200,000～	100,000～	650,000円
他のアジア地域への留学	400,000～	150,000～	350,000～	100,000～	1,000,000円
欧米圏への留学	800,000～	200,000～	600,000～	600,000～	2,200,000円

◎渡航費は往復航空運賃です。

◎その他の費用として、大東文化大学の授業料、海外傷害保険料、書籍代などが別途必要です。

短期留学

留学先	大東文化大学協定校
留学期間	4～6カ月
派遣人数	希望者
給付金	なし
単位振替認定	上限16単位

世界へ向かって大きくはばたこう!

大学での4年間は、自分の将来を考え、進路を決める大切な4年間。
学業や課外活動にはげみながらも将来を意識した学生生活を送ることで、
卒業後の自分の姿が見えてきます。
将来のビジョンを描いたらそれを現実のものにするため、行動に移しましょう。
本学ではさまざまなキャリア支援を行っています。

就職支援プログラム

自己実現への第一歩は充実した大学生活から

1・2年次 STEP 1

キャリアセンターのサポートは入学後すぐにスタート。授業や課外活動も含めて、まず充実した大学生活を送ることがキャリアの基礎になります。早い時期に将来の自分をイメージして課題を見つけます。

- 主な活動
- ・教養と専門性をバランスよく身につける学習
- ・公務員・教職などの対策講座に参加
- ・学内ダブルスクールなどで資格取得

自分のテーマを見つけ、積極的に取り組もう

STEP 2

自分の専門分野について興味・関心を深めるとともに、友人や先生との交流の中から自分という人間を理解していく時期です。あらゆる経験を通して精神力や行動力、自分を語れる力を身につけることが「就活力」となります。

- 主な活動
- ・キャリアセンターの学内ガイダンスに参加
- ・ゼミやクラブ・サークルでの主体的な活動
- ・学内ダブルスクールなどで資格取得
- ・アセスメントの自己評価
- ・信頼関係を構築する個人面談(全員)

ダブルスクール

大学にいながらにして さまざまな資格がとれる

大東文化大学では就職活動を支援するために、学生が学内で受講することのできる「ダブルスクール講座」を数多く開設しています。わざわざ専門学校へ通わなくてもさまざまな資格を取得することができ、就職活動や学習の目標として活用することができます。

W

- TOEFLテスト受験対策
- TOEICテスト受験対策
- HSK漢語水平考試(4～6級)受験対策
- 簿記検定(3級)受験対策
- 宅地建物取引主任者受験対策
- 国内旅行業務取扱管理者受験対策
- 総合旅行業務取扱管理者受験対策
- 総合旅行管理者(国内旅行管理者合格者対象)受験対策
- 秘書技能検定(2級)受験対策
- 販売士試験(2級)受験対策
- 介護事務受験対策
- パソコン検定受験対策
- ホームヘルパー(2級)



目標を達成するためにチャレンジ

4年次へ
STEP4

エントリーを開始し、セミナーやさまざまな説明会に参加して、企業の情報を収集します。そこから自分の希望する企業を絞り込み、採用試験へと確実に進んでいきます。

- 主な活動
- ・情報収集&エントリー
- ・企業や団体のセミナーに参加
- ・会社ごとの説明会に参加
- ・就職試験や採用試験に挑戦

大学生生活の成果を将来に結びつける

3年次
STEP3

個別面談などを通して自分の適性と将来の進路を関連づけて考えていきます。約300社以上の採用担当者を招いた「学内就職セミナー」や本番さながらの「模擬面接」など、さまざまなプログラムを通して就職活動への意識を高めていきます。

- 主な活動
- ・就職ゼミ
- ・業界・企業の情報収集と研究
- ・筆記試験・面接トレーニング
- ・OB・OG訪問
- ・志望動機の確認とエントリーシートの作成対策
- ・情報収集&エントリー
- ・個別就職相談(随時)
- ・働くことを学ぶ授業「国際関係特殊講義「企業と雇用(A・B)」」

国際関係学部で取得できる資格・免許

- 中学校教育職員一種免許状(社会)
- 高等学校教育職員一種免許状(公民・地理歴史)
- 司書
- 司書教諭
- 社会教育主事
- 博物館学芸員
- 副免許制度を活用すれば、小学校、中高他教科の免許取得も可能

主な就職先

- | | | |
|---------------|---------------------|----------------|
| (株)りそな銀行 | リズム時計工業(株) | 東急リバブル(株) |
| 大和ハウス工業(株) | 加賀電子(株) | (株)イトワール海渡 |
| (株)千葉銀行 | (株)タムラ製作所 | 伊藤製パン(株) |
| イオン(株) | ダイワボウ情報システム(株) | トヨタホーム東京(株) |
| 鹿島建設(株) | (株)オービックビジネスコンサルタント | (株)日比谷花壇 |
| (株)クレディセゾン | アイカ工業(株) | (株)セントラルファイナンス |
| ソフトバンクモバイル(株) | (株)レオパレス21 | (株)サイゼリア |
| (株)千葉興業銀行 | イオンクレジットサービス(株) | (学)埼玉医科大学 |
| 新日軽(株) | 三菱電機ビルテクノサービス | (学)日本医科大学 |
| (株)東和銀行 | (株)JALグランドサービス | 地方公務員警察官東京都 |
| 三信電気(株) | 近畿日本ツーリスト(株) | 地方公務員町役場栃木県 |

世界の注目が集まるアジア、その時代性を反映した就職実績は、国際性豊かな企業、NPO・NGOなどに広がっています。

キャリアセンター

学生たちの
進路指導全般を担当します!

約38,000社の最新企業データをはじめ、さまざまな参考書籍や先輩の就職活動体験記、あるいは卒業生の企業別在籍一覧など、すぐに役立つ実践的な資料がいつでも自由に閲覧できます。



それぞれの学年に応じた指導を徹底
学年学部別ガイダンスでは就職活動全般について説明し、各種講座(公務員・教員)、講演会、筆記試験対策などで、それぞれの学年に「そのときに必要なこと」を中心に指導を行っています。

一人ひとりの希望をかなえるために
学生一人ひとりの希望に沿った就職をかなえるため、個人面談中心のきめ細やかな指導を行っています。就職活動中はもちろんのこと、1年次からいつでも気軽に相談できます。

キャンパスマップ

池のほとりの階段は
芝生になっているので、
ランチやお喋りに最適。

東京ドーム6.2個分の広大なスペースを誇る東松山キャンパス。
緑豊かな環境の中に、大学生活を満喫するためのさまざまな設備がととのっています。
学びの場としてはもちろん、友達とひとときを過ごし、
勉強やサークル活動などにも熱中できる快適な環境。
ここでしか味わえないキャンパスライフが待っています。

① 研究室

各研究室は、ゼミやアフターゼミの語らいの場。いろいろなテーマについて話し合える時間は、学生時代の貴重な財産になります。



② キャンパスプラザ

待ち合わせに最適なキャンパスプラザは、バス停や学食のすぐ近く。野外ステージとしても利用されます。

④ 学食

第1厚生棟には、テイクアウトもできるカフェテリアと豊富なメニューの学生食堂、単品で選べるカフェテリア食堂とビュッフェが。食堂、部室棟の学生食堂と合わせ、バラエティ豊かな5つの学食が揃っています。



③ スクールバスターミナル



⑤ 学部事務室

各種証明書の発行や履修指導、学生生活に必要な諸手続きを行います。



⑦ 図書館

インターネット対応検索システムを完備。110万冊もの蔵書の中からお目当ての1冊をすばやく探せます。AVルームではCDやDVDも鑑賞可能です。



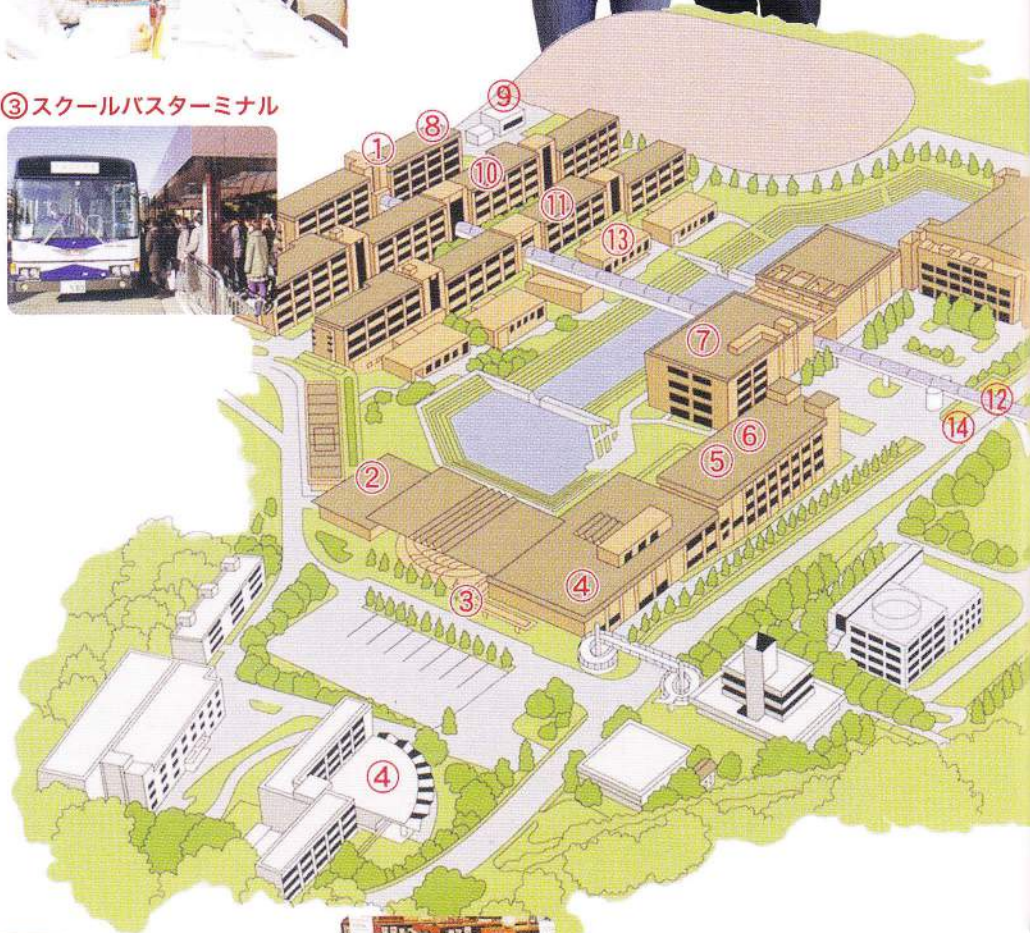
⑥ キャリアセンター

資料室には企業の資料ファイルがぎっしり。「就職なんてまだまだ先」なんて言ってたらもったいない！入学したら、友達も誘って気軽にのぞいてみよう。



⑧ 大学院アジア地域研究科

国際関係学部で学んだアジアをさらに深く研究するアジア地域研究科が99年に設置されました。



⑨ 地域研究会会館

学部の活動やイベントを盛り上げるための団体「地域研究会」の拠点です。国際関係学部生は全員、地域研究会の会員となります。



Come On! 「地域研究会」

運営委員会が中心となり、ASIA MIX やスピコン、ASIA WEEKなどを企画・実行します。イベントは学生のためのもの。だから、あなたの意見が形になるかも？



⑩ LL 教室

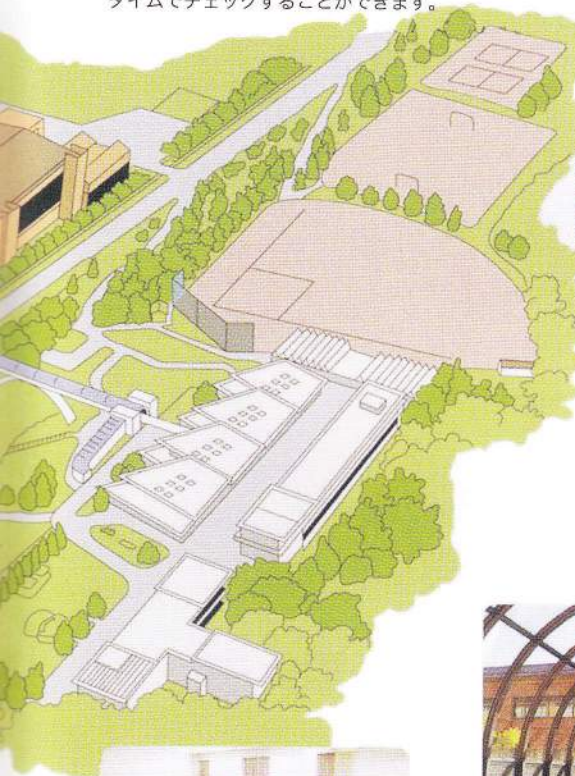
LL 教室には、地域言語に対応したパソコンを設置。インターネットで、アジア各国のニュースをリアルタイムでチェックすることができます。

800台のパソコンを完備したパソコンルーム。自由に利用できるので便利!



⑪ パソコン教室

学内ネットワークに接続できます。研究テーマに関する情報収集も簡単!



⑬ 大教室 (601 教室)

一度に400人まで対応する大教室。全学共通科目など、他学部との共通の授業にも利用されます。



⑫ オーバーブリッジ

オーバーブリッジは東松山キャンパスのシンボル。2号館から第2研究棟までの約300mを結びます。

⑭ 正門から見た校舎



雨が降っても OK。どの施設にも傘をささずに行けますよ。



キャンパスライフを左右する?
人気の学食メニュー



●サービスランチ ¥400

学食メニュー人気 NO.1 に輝くサービスランチは、栄養・ボリューム満点の日替わり定食。ご飯が日替わりで「ピラフ」や「炊き込みご飯」などに替わるのも楽しみ。



●和風定食 ¥400

魚を中心としたヘルシーな日替わり定食。旬の素材を使った主菜に煮もの系の副菜もついて、女子学生に大人気。



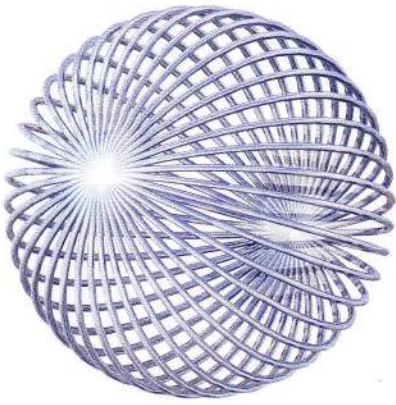
●カツカレーライス ¥360

肉も野菜もたっぷり入った本格派のカレーに、ビッグなカツをのせた学食の王様。カレーライスのみは¥260。



●ラーメン ¥230

鶏がらベースのスープは、醤油控えめのあっさり味。太麺で、厚めの焼き豚に青菜・しなちくとトッピングも充実。



東松山校舎

〒355-8501

埼玉県東松山市岩殿 560

電話 0493-31-1513(国際関係学部事務室)

国際関係学部 URL

<http://www2.daito.ac.jp/gakubu/kokusai>

板橋校舎

〒175-8571

東京都板橋区高島平 1-9-1

電話 03-5399-7800(入試部入試課)

大東文化大学 URL

<http://www2.daito.ac.jp/>